

生活 町大すき

2年3組
授業者 石川 恵子

■ 単元の目標

- 自分の町を探検し、そこに暮らす様々な人、自然、場所などに関心をもち、進んで関わろうとする。(関心・意欲・態度)
- 様々な人、自然、場所、出来事について、工夫して表現し、伝えることができる。(思考・表現)
- 町の人々や自然、場所などと関わることを通して、町のよさに気づくことができる。(気づき)

■ I C T 活用の視点

○ 学習効果を高めるための I C T 活用

探検したことをパソコンを使ってまとめ、情報の交流をする方法としてプロジェクトや実物投影機を用いる。多様な形で表現し、交流することにより、学ぶ喜びを味わうことができる。また、写真や動画を取り入れることによって、分かりやすく紹介することができ、聞く側も興味・関心が高まる。

○ 課題を調べる道具としての I C T 活用

探検してきたことの中で、さらに調べたいことに気づき、インターネットを活用して調べることができる。

■ 本時の授業の概要

本単元は、子どもたちにとって身近な生活圏である地域で様々な場所と関わったり、人と接したりする活動を通して「町のよさ」に気づき、住んでいる町に愛着をもつようになることをねらいとしている。見つけたり、聞いたり、気付いたりしたことを自分なりの方法で表現し伝えることができるようにならう。その一つとして、ICTを活用していくようにしていく。

本時の学習では、探検で得た写真や動画、インタビュー等の情報や、感じ取ったものを自分なりの方法でまとめていく。ICTを効果的に活用していきたい。また、活動の中で疑問に感じたことが出てきた場合はインターネットで調べていく。

本時の目標

自分たちが伝えたい内容を確認しながら発表に向けて、グループの発表方法でまとめることができる。

学習活動	指導上の留意点
1. 本時のめあてを確認する。 ほうこく会のじゅんびをしよう。	前時までの活動を確認し、本時の意欲を高める。
2. 探検したグループに分かれて活動する。 (1) 各グループの発表方法でまとめる。 • テレビ番組 • クイズ • 紙芝居 • ポスター • ペーパーサート • 絵本 • かるた	体験したり感じたりしたことと工夫して楽しく表現できるようにする。 グループで相談した下書きを用意しておき、スムーズに活動ができるようにする。 写真や動画、インタビューなどをどこで使うと分かりやすいかを助言していく。
(2) 発表の練習をする。	さらに調べたいことがあった時はインターネットを活用できることを知らせておく。 お互いの表現の良さに気づき、またそれを自分の表現に生かせるようにする。
3. 本時の活動を振り返り、次時の活動内容について話し合う。	振り返りカードに記入することで自分の活動を振り返り、友だちのがんばりにも気づくことができるようにする。 次時は、発表準備のまとめをすることを確かめる。